

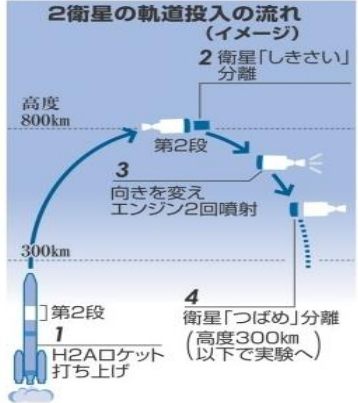
2衛星 軌道投入に成功

H2Aロケット初宇宙で温暖化観測へ

地球温暖化の仕組みの解明を目指す観測衛星「しきさい」など二つの人工衛星が23日午前10時26分、鹿児島県の種子島宇宙センターからH2Aロケット37号機で打ち上げられた。H2Aロケットでは初めて、二つの衛星を高度の異なる軌道に予定通り投入し、打ち上げは成功した。

打ち上げの約20分後、高度約800キロで第2段ロケットからしきさいを分離。その後、第2段の向きを変え、エンジンを2回噴射させる新たな工夫をし、約1時間半後、より低い高度に試験衛星「つばめ」を投入した。

この運用の工夫は、衛星の相乗り機会を増やし、打ち上げ費用を安くすることにつながるそうだ。宇宙航空



空研究開発機構(JAXA)と共に打ち上げを担った三菱重工業の阿部直彦執行役員は記者会見で「ビジネスの幅が広がる」と期待する」と話した。

しきさいは、温暖化の予測をする上で誤差の要因となる雲や大気中のちりを観測し、予測の精度を高める目的。植物がどの程度二酸化炭素(CO2)を吸収し、大気中のCO2の濃度の上昇を抑

えているかも調べる。ちりが太陽光を反射して地球を冷やす効果を検証するとともに、海面水温、積雪などさまざまなデータを集める。つばめは、これまでほとんど例がない高度200〜300キロの低い軌道で安定して飛び続けられるかどうかを実験する。大気の抵抗が大きくと衛星の高度が下がりやすい中で、小惑星探査機「はやぶさ」にも搭載したイオンエンジンを噴射することで高度を保てるか、技術を評価する。



観測衛星「しきさい」と試験衛星「つばめ」を載せ、上昇するH2Aロケット37号機。23日午前10時26分、鹿児島県の種子島宇宙センター

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【 】

① リード文(前文)をそのまま、写し書きしましょう。

② 「しきさい」は、何の目的で打ち上げられたのですか？主な目的を書きましょう。

③ 「つばめ」は、どのような実験をするのですか？

NIエワークシート／小学校高学年／高校／理科、総合、朝NIエ